

# — 緩徐進行1型糖尿病の診断基準が改訂 —

従来の膵島関連自己抗体(抗GAD抗体、ICA)に  
抗IA-2抗体、インスリン抗体 (IAA)、  
抗ZnT8抗体が加わりました。

監修

埼玉医科大学  
内分泌・糖尿病内科  
准教授

及川 洋一 先生

## 改訂のポイント

- ① 新しい診断基準では、緩徐進行1型糖尿病の診断に役立つ膵島関連自己抗体として抗IA-2抗体、インスリン抗体 (IAA)、抗ZnT8抗体<sup>(\*)</sup>が新たに加わりました。
- ② 最終観察時点において内因性インスリン欠乏状態(空腹時血清Cペプチド $<0.6\text{ng/mL}$ )が確認された場合にのみ、「緩徐進行1型糖尿病(definite)」と診断できるようになりました。
- ③ 内因性インスリン分泌が残存している場合(空腹時血清Cペプチド $\geq 0.6\text{ng/mL}$ )はインスリン非依存状態の糖尿病であり、「緩徐進行1型糖尿病(probable)」すなわち「緩徐進行1型糖尿病の疑い」とすることになりました。

(\*) : 保険未収載。

## 緩徐進行1型糖尿病 (SPIDDM) の診断基準 (2023)

### 必須項目

1. 経過のどこかの時点で膵島関連自己抗体が陽性である。<sup>a)</sup>
2. 原則として、糖尿病の診断時、ケトーシスもしくはケトアシドーシスはなく、ただちには高血糖是正のためインスリン療法が必要とならない。
3. 経過とともにインスリン分泌能が緩徐に低下し、糖尿病の診断後 3ヶ月<sup>b)</sup>を過ぎてからインスリン療法が必要になり、最終観察時点で内因性インスリン欠乏状態(空腹時血清Cペプチド $<0.6\text{ng/ml}$ )である。

判定:

- 上記1、2、3を満たす場合、「緩徐進行1型糖尿病(definite)」と診断する。
- 上記1、2のみを満たす場合は、インスリン非依存状態の糖尿病であり、「緩徐進行1型糖尿病(probable)」とする。

a) 膵島関連自己抗体とは、グルタミン酸脱炭酸酵素 (GAD) 抗体、膵島細胞抗体 (ICA)、Insulinoma-associated antigen-2 (IA-2) 抗体、亜鉛輸送担体8 (ZnT8) 抗体、インスリン自己抗体 (IAA) を指す。ただし、IAAはインスリン治療開始前に測定した場合に限る。

b) 典型例は6ヶ月以上である。

### 参考項目

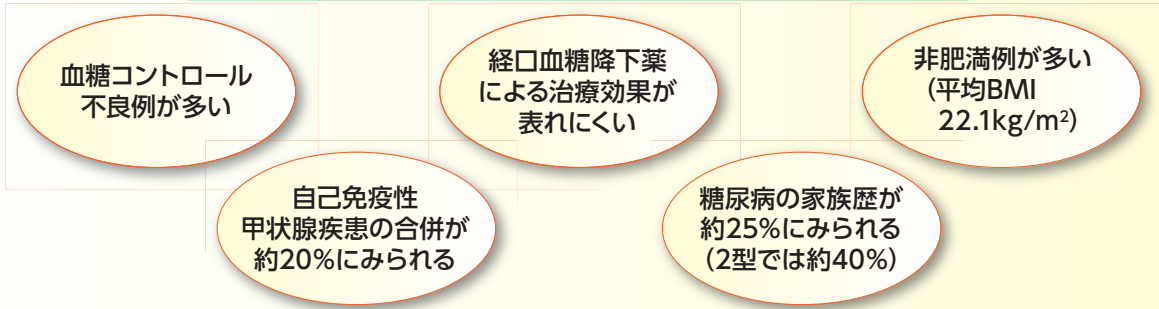
「緩徐進行1型糖尿病(probable)」は、海外では、LADA (latent autoimmune diabetes in adults、緩徐発症成人自己免疫性糖尿病)に含まれる概念で、典型例では35才以降に発症する。しかし、小児を含む若年者にも発症する場合があります。これらの例は海外ではLADY (latent autoimmune diabetes in youth)と呼称されている。

※1型糖尿病における新病態の探索的検討委員会では、前回(2012年)の緩徐進行1型糖尿病 (SPIDDM) の診断基準の見直しを進めてまいりましたが、この度日本糖尿病学会定例理事会に上申して承認を得ましたので学会ホームページへ掲載する運びとなりました。改訂の詳細は委員会報告論文として、また臨床現場での対応などの詳細はステートメントとして、後日掲載・発表を予定しています。

[注意] 抗ZnT8抗体は研究用試薬のため、検査結果を診断に使用することはできません。また、保険請求することもできませんのでご注意ください。

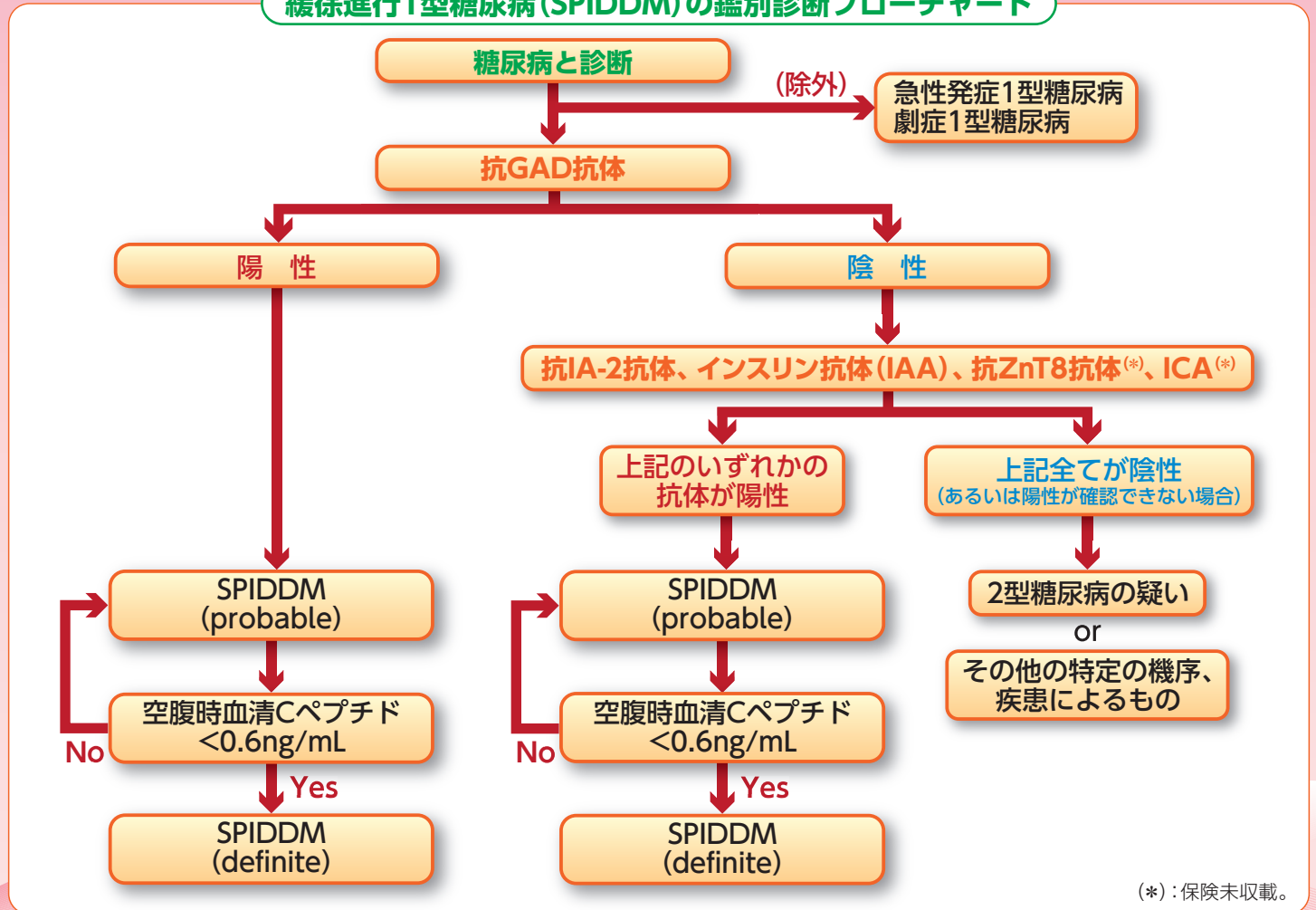
# インスリン非依存状態の糖尿病症例の約10%に 緩徐進行1型糖尿病が疑われると報告されています。<sup>1)</sup>

## 緩徐進行1型糖尿病 (SPIDDM) が疑われる症例の特徴



引用文献1) : 田中昌一郎ほか 糖尿病 54 (1) : 65~75, 2011

## 緩徐進行1型糖尿病 (SPIDDM) の鑑別診断フローチャート



(\*) : 保険未収載。

### 検査要項

コード No.	検査項目	検体必要量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	検査方法	基準値	実施料	判断料
03786	抗 GAD 抗体	血清 0.6	B-1 <input type="checkbox"/> 遠心 S-1	冷蔵	2~3	EIA法	5.0 未満 U/mL	生Ⅱ	※ 1
13150	抗 IA-2 抗体	血清 0.4	B-1 <input type="checkbox"/> 遠心 S-1	冷蔵	3~6	EIA法	0.6 未満 U/mL	生Ⅱ	※ 2
13911	インスリン抗体	血清 0.5	B-1 <input type="checkbox"/> 遠心 S-1	冷蔵	4~7	RIA法	0.4 未満 U/mL		判免

※1 抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ (GAD 抗体) すでに糖尿病の診断が確定した患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合又は自己免疫介在性脳炎・脳症の診断に用いた場合に算定できる。

※2 抗 IA-2 抗体 すでに糖尿病の診断が確定し、かつ、抗 GAD 抗体の結果、陰性が確認された患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合に算定する。なお、算定するにあたっては、抗 GAD 抗体の結果、陰性が確認された年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。